

令和6年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～					
	施策	31 水道 ー安全な水道水を安定供給しますー					
重点プロジェクト		強靱なまちづくりプロジェクト					
総合戦略							
主管課		都市政策部 上下水道課				評価責任者	山風呂 敏
関連課						評価日	令和7年6月2日
目標		浄水施設や水道管路などの水道施設の維持管理を適正に行うとともに、災害時にも機能が保持できるよう施設の耐震化を図ります。					
施策目標の実現に向けた取組		(1) 水道水の安定供給 ○水道事業の安定化のため、施設の耐震化や計画的な施設更新を実施し、石綿セメント管更新事業を最優先で行います。また、給水管路の更新については、災害拠点・病院・避難所などの重要給水施設の配水管を優先的にを行います。なお、石綿セメント管更新事業については令和7年度（2025年度）での完了を目指します。 ○浄水場からの配水管網整備計画に基づいた配水管改良事業を進めるとともに、浄水施設や配水管のダウンサイジングを継続して実施します。 (2) 水道事業の経営基盤の強化 ○今後の水道水の需要を把握し、適正な料金水準について分析及び検討を行います。 ○経費削減の取組を継続するとともに、水道事業経営戦略を改定し、経営基盤の強化を図ります。					

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策指標	指標1	指標名	石綿セメント管の残延長 ※減少を目指す指標					
		説明	老朽管（石綿セメント管）を計画的に更新することにより、耐震化率を向上させ、安全で安心な水道水の安定供給を図っている。石綿セメント管更新事業に注力し、目標値を超える実績値を達成した。					
		単位	k m					
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
		目標値	1.20	0.00	—	—	—	0.00
		実績値	1.14					
	指標2	指標名	井戸の更新箇所数（累計）					
		説明	大規模な停電時においても水道水の安定供給を図るため、水源井戸の掘り替えや電源盤を改造している。更新目標は令和3年度に達成したが、未更新井戸の更新計画や既存設備の延命化を図っている。					
		単位	箇所					
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
		目標値	7	7	8	8	9	9
		実績値	7					
	指標3	指標名	重要給水施設配水管更新事業（更新延長）（累計）					
		説明	令和8年度から実施事業のため、令和6年度は実績なし。					
		単位	k m					
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
		目標値	—	—	2.00	4.00	6.00	8.00
		実績値	0.00					
	指標4	指標名	料金回収率					
		説明	給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを示す指標のこと。令和6年度は、令和6年12月検針分から実施した水道料金改定により、料金水準が適正な状態にある100%を超えることができた。					
		単位	%					
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
		目標値	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上
		実績値	103.69					
	指標5	指標名						
		説明						
		単位						
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
		目標値						
		実績値						

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
支出	事務事業費	2,337,264	0	0	0	0	0	0
	人件費	85,265	0	0	0	0	0	0
収入	特定財源	2,422,529	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	石綿セメント管の 残延長	どのような状況においても安全で安心な水道水の安定供給を行うため、老朽管（石綿セメント管）を耐震性・耐久性に優れたダクタイル鋳鉄管等に更新するとともに、既設管の維持管理及び施設の水準向上に向け取組んでいる。	脆弱な老朽管（石綿セメント管）から耐震性・耐久性の優れたダクタイル鋳鉄管等へ約1.2km更新した。災害への備えとともに管路耐久性が向上し、加えて、漏水等を未然に防ぐことができ、有収率の向上にも繋がっている。	水道管路施設管理・更新事業
取組②	井戸の更新（新設）箇所数	どのような状況においても水道水の安定供給が可能となる強靱な水道システムの構築に向けて、水源井戸設備の維持管理を行うとともに不具合箇所の修繕及び老朽化が進む施設や設備の改修を行う。	電気、機械、通信設備の点検・整備を通して、不具合箇所の早期発見、部品交換を行い、安全・安心な水道水の安定供給に取り組んだ。また、井戸の老朽化対策に関する設備更新計画について策定準備を行った。	浄水施設管理・改修事業
取組③	料金回収率	安定的な水道事業を継続するためには、運営基盤を強化する必要がある。経費の削減を図る一方で、水道収益の根幹である水道料金の水準及び体系が適正であるかを調査・検討していく。	令和6年12月検針分から、平均123.4%増の料金改定を行った。年度途中の改定だったが、令和6年度末の料金回収率は100%を越え、また、供給益4.35円が発生し、健全な事業運営の基盤を整えることができた。	水道事業管理等事務
取組④				
取組⑤				

5. 評価

		評価
指標の達成状況	順調	水道は、市民生活や経済活動に欠かせない最も重要なライフラインとして、24時間365日、安心して利用できるよう、施設の強靱化が求められている。
行政資源の活用	適切	水道水の安定した供給を図るうえで欠かすことができない配水管等については、その規模や経営的課題から、1年度に約1kmの更新を目標としている。しかしながら、漏水事故及び災害対策として耐震化率の早期向上を図るため、更新事業に注力していることから、計画目標値を大きく超える結果となっている。また、水源井戸についても、令和3年度において、更新（新設）箇所数が計画の最終目標値に達したことにより、災害に強く、安全な水道水の安定供給に繋がるものとなっている。
取組の有効性	有効	こうしたことから、本市の水道施設は、計画どおりに災害対策が推進されており、重点プロジェクトに掲げられた「強靱なまちづくりプロジェクト」についても順調に進んでいると捉えている。
施策の効果	効果が得られている	今後においても、安全で安心な水道水の安定供給を継続するため、施設の強靱化に向けた浄水場の耐震工事、水源井戸設備の更新に取り組む。また、石綿セメント管の更新終了後も老朽管の更新を継続するとともに、既設管の維持管理及び水道施設の水準向上に努めることにより、強靱な水道の構築を進める。事業経営については、料金改定により、健全な事業運営の体制の確保に繋げることができた。将来的には、給水収益の低下及び物価高騰による費用増加が見込まれるため、経費削減の意識を持ち、安定的な経営管理に努めていく。